

記号論への招待



[記号論への招待_下载链接1](#)

著者:池上 嘉彦

出版者:岩波書店

出版时间:1 9 8 4

装帧:

isbn:9784004202585

いま広範な学問・芸術領域から熱い視線を浴びている「記号論」。それは言語や文化の理解にどのような変革を迫っているのか――。ことわざや広告，ナンセンス詩など身近な日本語の表現を引きながらコミュニケーションのしくみに新しい光をあて，記号論の基本的な考え方を述べる。分かりやすくしかも知的興奮に満ちた，万人のための入門書。

作者介绍:

池上 嘉彦（いけがみ よしひこ、1934年2月6日 - ）は、日本の言語学者、東京大学教養学部名誉教授。

京都府京都市出身。1956年東京大学英語英文学専修課程卒業、同大学院修士課程修了。1963年より助手。以後、東大教養学部にて定年まで勤務。フンボルト財団、フルブライト研究員となり、ドイツ、米国、英国に滞在する。1969年、イエール大学で言語学の博士号を取得。ミュンヘン大学、ロンドン大学客員教授、85年東大教養学部教授、95年の定年後は、昭和女子大学大学院教授。東大名誉教授。専門は記号論・意味論・詩学。京都出身だが見事な標準語を話す。2000年に設立された日本認知言語学会初代会長を務める。

目録:

[記号論への招待_ダウンロード1](#)

タグ

言語学

記号論的招待

レビュー

[記号論への招待_ダウンロード1](#)

書評

[記号論への招待_ダウンロード1](#)